

# ロシア語

## РУССКИЙ ЯЗЫК

合格おめでとう。さっそくで恐縮だが、関西大学では、なんと国連の公用語のひとつであるロシア語を学ぶことができる。さすが国際性をうたう外国語教育の関大である。ロシア語が学べる大学は西日本ではほんとうに珍しい。しかも1957年開設なのだから、半世紀の歴史をもつ屈指の古株なのである。関関同立では同志社か、ここ関大でしかロシア語は学べない。君もこのチャンスを見逃す手はないだろう。

## ■「駅前」でも学べない隣国の言葉 ■

さて、関大ならではのロシア語は、君たちにどんな満足感を与えてくれるだろう。外国語を学ぶ意味を少し考えてから本題に入ろう。

### 1. 複数の言語を学ぶ理由

英語以外の外国語は、自分たちの専門科目とは無関係な別個の科目で、**関大DMマトリョーシカ** 専門に直接関係ないと思っているひとがけっこう多い。ほんとうにそうなのか。脳神経外科医の植村研一先生はこうおっしゃる。

語学の能力の中でも、最も高度な脳の働きが要求されるのは読解力です。ことにいわゆる「行間を読む」というような作業は、まさに抽象能力で、知能の最高の理解力のところに一致しているのです。ですから、語学の読解力を極めることによって、その抽象化能力がものすごく進歩する。その脳細胞のところに非常に緻密なネットワークができれば、その抽象化能力は数学にも役に立つのではないか。(中略) アメリカでおもしろい調査報告がありました。医学部を卒業した後、医師としての発展度合いに最も相関するのは、自然科学の知識や理論ではなく、問題解決力と、これまでは全く無関係と思われていた語学力、それも特に深い読解力であることが判明した。つまり、読解能力とは洞察力であり、深くものを考える能力のことなのです。(月刊「言語」)

おわかりのように、外国語学習は、体系をもつ学問すべてに通じる体系化能力を養うばかりか、洞察力という、脳の高度な働きを活性化するととても重要な「運動」なのだ。それなら英語を一生懸命勉強すればいい——もしかしたら君もそう考えたひとりかもしれない。でもそれは、「大脳機能を無視した極論である」と植村先生は指摘する。なぜだろう。大脳の神経回路は、転用されないと鍛えられないからなのだ。先生曰く、「多芸に秀でた人はますます多くを学び、なかなかボケない」。



それに、英語以外の言語を学ぶことで世界がぐんと深くなる。なるほど英語で用がたりることがあるかもしれない。けれども、個別言語を知っていれば、相手は何倍もリアルに君のものになる。この「リアルに」というのが重要だ。ロシア語をやれば、今まで地図で眺めるだけだったモスクワ―サハリン間の広大な大地が、君の知覚や意力にはほんとうに存在するようになるのである。シベリア鉄道にゆられる君は、英語＝共通語という認識がごく限られた神話であることをたちまち思い知らされるだろうし、ウォッカやピクルスを惜しげもなくふるまってくれるロシア風の「挨拶」にびっくりするかもしれない。そしてモスクワからはるか東の日本をながめたとき、君の中の世界地図は一変することだろう。そうした体験は、ただ君の見聞を広げてくれるばかりではない。必ずや君自身のものの見方に強い影響を与えることだろう。

外国語は、様々なコミュニケーションをとおして自分を知り、創ってゆく、人生という仕事のための重要なツールのひとつだ。そしてその最大の効用は、異質な発想や表現によって、「疑う」という文化理解の原点にほくらを投げこみ、固定観念や、既製の価値観からほくら自身をすくいあげてくれることにある。そしてこのことは、あまりにほらの日常に馴染んでしまった英語よりも、英語以外の、日本語とは異なる体系の外国語を学ぶことであらためて理解されることが多い。

さて、本題に入ろう。ロシア語とロシアのパワー、そして授業について簡単に紹介してゆこう。求めればどんな満足感を与えてくれるのか、その一端がわかると思う。

料理で学ぶロシアとロシア語	
春・ピロシキ	冬・ボルシチ
	
<p style="text-align: center;">【ベリョースカ／緑のテーブル】</p> <p>ベリョースカは白樺のこと。いち早く芽吹く生命力の象徴。新緑の5月に香ばしいピロシキを作り、ロシア語の1年がスタート。</p>	<p style="text-align: center;">【ヨールカ／赤のテーブル】</p> <p>ヨールカはトウヒ、マツなどの針葉樹。真っ赤なビーツに緑の香草デイル、そして雪のようなスメタナ。ボルシチは温かい家庭料理です。</p>

## 2. 高まる需要―BRICsブーム、トヨタ、松下相次ぐ進出

政府が「政経不可分」の原則と訣別し、「信頼」「相互利益」「長期展望」の三原則を柱とする対ロシア外交を打ち出したことで、日ロ関係は大きく羽ばきはじめた。ところがである。とにかくロ

シア語を使える人材が不足している。なのに、である。ロシア語はことわが国においては今もって公然たるマイナー言語なのである。大学に限らずロシア語学習のチャンスはきわめてまれた。減少の傾向さえみせている。天然資源の豊かなロシアは、98年の金融危機を翌年に回復して以来、GDP成長率はプラスを堅持し続けている。国内のビジネス環境も変わり、世銀IFCのビジネス難易度ランキングによると、BRICsの中で中国を抜いてビジネスのしやすい国にランクされているのである(Doing Business in 2006)。こうした中、アメリカや韓国に遅れをとっていた日本もようやく動きだした。トヨタ、松下など大手製造業部門がロシアに進出し投資を開始したほか、資源エネルギー開発、発電機・エンジンの現地生産、木材加工など、多様な企業が対ロビジネスに参入。その結果、日ロ間の貿易総額は100億ドルを突破。外務省、経済産業省及び日露貿易投資促進機構も日本企業のロシア進出を全面的に支援している。またロシア語は、国連だけでなく、国際宇宙ステーションでも、英語とともに公用語に位置づけられている近未来の言語なのである。君も遅れをとってはいけない。経済協力、技術協力、文化交流、宇宙開発の幅広い分野でロシア語の人材が求められているのである。そして関大ではロシア語が学べるのだ。

#### ロシア文化パレード

FDセミナー	LL特別講義	公開授業	ゲスト講義
 <p>▲テルミンの世界 (竹内正実氏)</p> <p>文楽を通して見た日本■ (K・ガラヴィナさん)</p>		 <p>▲マトリョーシカ絵付</p> <p>アイコンの世界■ (画家藪幸恵子氏)</p>	

### 3. ロシア・パワーとその魅力

<ロシア>と聞いて君の脳裏に去来する名前は、シャラポワ、プーチン、ブルシェンコ、黒海あるいはチェブラーシカだろうか。それともドストエフスキー、チャイコフスキーといった19世紀の天才たちの名前だろうか。だが、それだけではない。20世紀初頭にはエイゼンシュテイン(映画)、ロトチェンコ(写真)、ニジンスキー(バレエ)、ショスタコーヴィチ(音楽)、シャガール(絵画)、ヴェスニン兄弟(建築)、メイエルホルド(演劇)、パステルナーク(詩)、ブルガーコフ(小説)、シクロフスキー(フォルマリズム)等々、舌を噛みそうな名前の巨星たちが、「時空の知覚様式をめぐる20世紀的革命的、まさしくトップランナー」(中沢新一『東方的』)として続々と登場し、世界の芸術文化の礎を築いたのだ。その巨大な層の厚みは、たとえばロシア・ピアノ音楽にみられる揺るぎない**伝統**、たとえばリュビーモフ、バルト、シニトケといった個性的な芸術家たちの**多様性**、

たとえば文化記号論で世界を震撼させた学者たち——プロップ、ロトマン、そしてバフチンらの**独創性**によって確認できるだろう。

## ■ ヨーロッパ+アジア+スラヴ+ユーラシア ■

こうしたパワーと多様性は、ロシアのハイブリッドな多文化共生空間からうまれでる。スラヴの大地に、ノルマンの文化が入り、正統なヨーロッパ精神——ビザンチンがもちこまれた。中世はアジアの騎馬民族に支配され、近代は女帝エカチェリーナに代表されるドイツ系の皇帝たちによってイタリア、イギリス、フランス風に整備された。ロシア語が「スペイン語の華麗さ、フランス語の潑刺さ、ドイツ語の力強さ、イタリア語の優美さ」を合わせもつといわれるゆえんである。様々な人種と文化が混淆する巨大な空間ロシアは、ヨーロッパであり、アジアであり、スラヴであり、ユーラシアであって、そのどれでもないのだ。

こんなロシアの、底知れぬ魅力にとりつかれた先輩がロシアとの出会いをこう話してくれた。

ある晩ラジオをつけてみると、ハングルにまじって日本向けモスクワ放送が聞こえてきたのです。その声が僕をロシアのとりこにしたきっかけでした。ロシアにたいして灰色のイメージを抱いているひとが多いかもしれませんが。僕もそのひとりでした。しかし、アナウンサーの話、音楽などを聴いていると疑問がわき、自分で知りたくなりました。そして、地図を見ると、ロシアは日本の隣国です。こんなに近いのにまだまだ情報が少ない未知の国の言葉を勉強し始め、ロシアの美しい風景や若者たちの生活、文化や芸術が、すっかり偏見を振り払ってくれました。

関学文学部に合格するも、ロシア語が学べるというので関大法学部に入学した仲井君は「ロシア連

### ロシア語特別講義



「シベリアがやってくる」  
A.ガフルノワ氏



「原作者が語るチェブラーシカ」  
E.ウスペンスキー氏

邦『消費者保護法』について」を提出し大学院を修了。修士論文に添付したロシアの「消費者保護法」は本邦初訳！教養ロシア語8単位が立派に専門の役に立っている。ほかにも経済学や国際法、史学、国文学、教育学、社会学、情報等、ロシアな先輩たちはたくさんいる。進学先も阪大、神大、大阪市大などさまざまだ。

たしかに今、ロシア語の人材には経済・社会・政治面で使える、実用的能力が求められている。だが、一国の真価が芸術文化にあらわれることはシンクロナイズド・スイミングやフィギュア・スケートなどのスポーツ文化をみればすぐにわかるだろう。だから、バレエや演劇など芸術に関心のある諸君には迷わずロシア語をすすめたい。文学に関心のある君ならバフチンの名前は知っておくべきだろうし、近代日本の文学、いや、大江健三郎、村上春樹、島田雅彦だってロシア文学抜きには語れない。映画では、タルコフスキーやソクーロフの深い仕事が日本にも根をおろしつつあるが、本物の映画好きならエイゼンシュテインの偉大さにやがて気づく日が来るだろう。また、ユーリー・ノルシテイン知らずしてアニメーションは語れない。文学や文化ばかりではなかった。地理や歴史に関心がある君だって、ロシアはまだ未開のテリトリーだし、教育学・心理学の歴史も厚く、ヴィゴツキーは近年とみに注目されている。神秘主義哲学も知られざる逸材が揃っている。このように、外国語という《他者》を通して、自分をもっと知りたい、オリジナルな人生を造ってゆきたい、と君が思ったとき、ロシアにはあらゆる切り口が充分用意されている。おまけに今後どんな天才があらわれるかわからない、それがロシアなのだ。

#### 4. どんなことば？⇒ДОННА КОТОБА?

現在も2億人近い話し手をもつロシア語は、見慣れない文字の形がはじめはちょっととっつきにくい印象を与えるかもしれない。でも、五月晴の連休明けには、暗号のような「キリール文字日記」がスラスラ書けるようになる。うそではない。ということは音読だっていけるのだ。優越感のあまり、トルストイの『戦争と平和』を意味もわからずに朗読してみせる先輩もあとをたたない。それほど発音は簡単だ。そして、美しい。何といってもラフマニノフやグリンカのロシア語なのである。一音一文字対応のすばらしく経済的なロシア語は、日本語に似て開音節が多いので聞き取りもやさしく感じられるだろう。

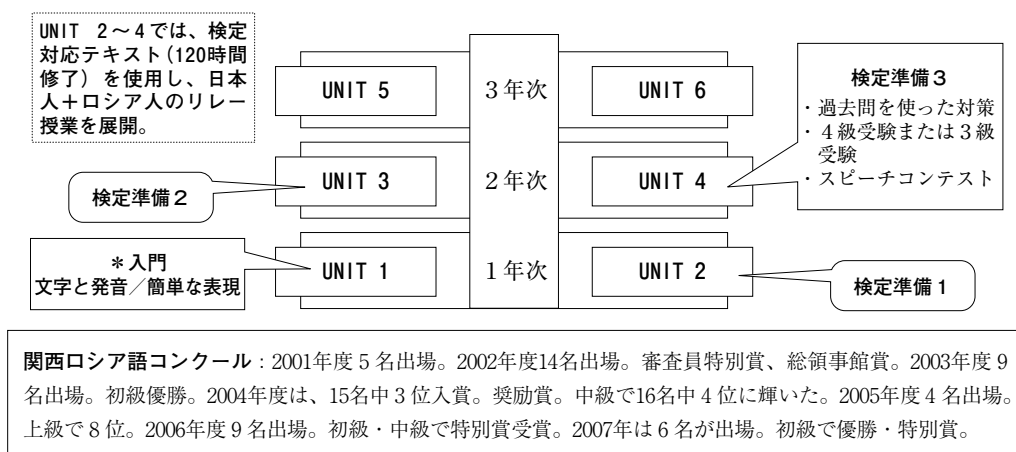
「天使の囁き」ともいわれる美しい発音の練習のあと、名詞の変化でやや足取りが鈍くなる。しかし、規則を尊ぶその素朴で素直な性格がとっても好きになるだろう。整然とした変化はまるで行進曲のようだ。そして行進さながら、なだらかな名詞の丘をのぼってゆくと見えてくる。ほんやりゴールが見えてくる。これもうそではない。ゴール間近の動詞がまたおもしろい。たとえば「歩く」という運動は、ペアをなす動詞が状況によって使い分けられる。「歩いて大学にいくところだ(иду) /歩いて通学している(хожу)」といった具合に。スラヴ系の言語全般の特徴だが、およそすべての

動詞がそれぞれパートナーをもち、お互いに助け合い、豊かな表現力を発揮しているのである。動詞が終われば、あの巨星たちのワンダーランドの入口はもうすぐそこだ。それから、ロシア語をやればポーランド語やチェコ語といった西スラヴの言語が身近になることもつけ加えておこう。スラヴ系の言葉は親縁性が高いことでも知られている。またこれは、意外と知られていないことだが、ヨーロッパ最大の話者数をもつ言語はロシア語で、他のスラブ系言語（ウクライナ語、ブルガリア語など）を含めると二億二千万人にのぼるといわれる。

易しい言語などないし、日本語を含めたすべての言語同様、ロシア語にも特有の「クセ」がある。でも、チャイコフスキーの音楽を聴いてわかるように、理解できない「クセ」ではない。理解すればたちまち仲良くなれる、なんだか恋人にも似た生きものなのだ。

## 5. 授業のしくみと特色——検定にもシフトした体験型の授業

ロシア語の授業のしくみはとても明快だ。コンセプトは「使えるスキルの修得+正確な言語感覚の養成」。すべての学部で、日本人とロシア人のペアが二人三脚（リレー方式）で息のあった授業を進めている。1年次秋学期前半で入門の共通教科書を終了し、後半から検定対応教科書（『ロシア語教程Ⅰ』）に移行する。結果はあとからついてくる。学内外のコンクールなどを利用し、音声を補強すれば検定3級にも手が届く。



■法・文・経済・商・社・システム理工・環境都市工・化学生命工学部：1年次春学期は文字と発音の勉強（UNIT 1）。秋学期で検定対応教科書に移行し（UNIT 2）、4技能の基礎を2年次春学期までに仕上げ（UNIT 3）、秋学期で検定4級に合格可能な力を養う（UNIT 4）。

■総合情報学部：Ⅰa, b～Ⅲa, b（1年次）で基礎をかため、Ⅳa, b・Ⅴa, b（2年次）で中級レベ

	2005年度	2006年度	2007年度
5月	1. 高大連携事業Kandai3セミ 2. 大阪ハリストス教会訪問	食文化「ピロシキを作ろう」	1. 食文化「ピロシキをつくろう」 2. 学生ボランティア・総合学習「ロシアを知ろう」(吹田市立北山田小学校)
6月	1. 特別講義「シベリアがやってくる」 2. 全国ロシア語コンクール	1. 特別講義「原作者が語るチェブラーシカ」 2. 美術館ツアー「イディッシュ語とシャガール」	関大ロシア語開講50周年記念コンサート「シャガールとクレズマー音楽」
7月	学内朗読コンクール	1. 学内朗読コンクール 2. 中学生のためのサマー・セミナー	
9月	検定対策合宿	検定対策合宿	検定対策合宿
11月	関西ロシア語コンクール参加	関西ロシア語コンクール	1. 関西ロシア語コンクール 2. アリーナ授業
12月	1. シンポジウム「漂流・環流・交流」日露修好150周年記念事業 2. 神戸ロシア探訪	アリーナ授業「すべて、転んで、ロシア語で」	1. 高大連携事業「ロシアのクリスマス」 2. 美術館ツアー「国立ロシア美術館展」

2008年度			
5月	1. <b>ロシアの食文化「ピロシキをつくろう」</b> 授業でロシア語のレシピを学び、じっさいに作ります。寸劇を用意したり、感想を述べ合ったりする体感授業です。		
9月			<b>検定対策合宿</b> 11月のロシア語検定に合わせて、秋学期の始まる前に、希望者には合宿を提供しています。レベルごとのグループ学習や模試などを行います。学部・学年を超えた歓談もまた楽し。
12月	1. <b>キリーロワ先生のアリーナ授業</b> 「すべて、転んで、ロシア語で」 体感して身につける様々な表現。事前のレッスンと実技の組み合わせが好評です。		
	2. <b>高大連携事業Kandai-3セミ「不思議なロシア」</b>		
	 特別講義「ロシアの玩具の不思議な世界」	 白木マトリョーシカ 絵付け	ロシア文字を入れ完成



エクスカージョン  
「亡命ロシア文化の足跡」



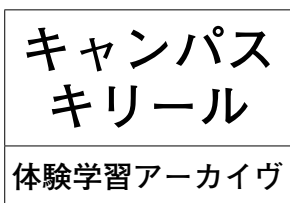
ロシア語コンクール



検定対策合宿



ラシアン・ポップユニット  
「シベリア歓喜団」



学園祭・ボルシチ屋台  
「もい・どうむ」



コンサート  
「フォーメイとシベリア」



アリーナ授業  
「滑って転んでロシア語で」



詩の朗読コンクール  
「プーシキン・リハーサル」

## 中学生のためのサマー・セミナー「マトリョーシカの国の暮らしと文化」(2006)



## Kandai-3 セミ : 「ロシアのクリスマス」 (2007)



朗読リレー



ボルシチ教室



特別講義「クリスマスの人形劇」



ルの力をつけ、Ⅵa, b (3年次) で総合的運用能力を身につける専門課程並の主選択 (12単位) と、基礎的な文法構造を理解し、読解力をつける副選択 (4単位) にわかれる。

どの学部もロシア人と日本人のペア授業を基本とし、元気な教師たちが懇切丁寧な解説と説明をモットーに、なごやかに授業をすすめている。2年もやれば、われわれ教師にたいする恨みも感謝も薄れ、ひとり辞書片手に自分のロシアと＜対話＞しているにちがいない。

もうひとつ、「正確な言語感覚の養成」のために力を入れているのが「体験」の導入。ロシア語という「道具」についてもっとよく知ってもらい、考えてもらうために、写真のような課外企画を用意し、使い道のヒントを提供している。

## 6. 先輩からのメッセージ—とにかく楽しい

◆色々覚えることがあるし、少し戸惑いを感じますが、内容はおもしろいです。法則がしっかりしているので、なんか楽しいというか…早く頭の中で文章がロシア語で浮かぶようになりたいです。授業は少人数でアットホームな感じ。質問しやすく、納得ゆくまで教えてくれるし、何とかなる精神のひとにもおすすめ。(総合情報学部2年次生) ◆実際に授業をうけてみて、少人数で、説明もわかりやすく、理解するまで教えてくれて、とてもいい授業だと感じた。進み具合ははじめは少し速いかと思ったけど、今ではだいぶ慣れていくくらいです…(文学部2年次生) ◆上級クラス (Ⅴa, b・Ⅵa, b) では、「アンナ・カレーニナ」や「桜の園」のような文学作品のほか、ロシア文化関連の文献を読んでいる。時間はかかるが、翻訳では決して味わえない魅力を体験できる。(社会学部3年次生)

キリーロワ先生の公開授業「滑って転んでロシア語で」



織田君 (中央) と土田さん (左隣)

初めて聞く言葉ばかりだけど大学から始める語学だからスタートは皆一緒!! 直ぐにみんなと仲良くなれるので授業も楽しいです。(土田裕子さん: 第53回全日本学生弓道選手権大会優勝)

憧れのプルシェンコ選手としゃべってみたいです。(織田信成君)

## 7. 辞書

博友社『ロシア語辞典』(頻度辞典に基づき中級まで使える)

(近藤 昌夫)

<http://www.linkclub.or.jp/~antosha>

文献案内、教員紹介や授業内容、ロシア語・ロシア文化関連情報を提供中。